

科目名	人文科学 I Human Science I			担当教員	前期：田口 淳 後期：與田 純		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120043	単位区分	履修単位

【前期】

学習目標	教育に関する基本的知識を身につけながら、現代社会が抱えている教育的諸問題への関心を深めるとともに、自分自身の教育観の形成を目標とする。						
進め方	講義形式を基本とし、プリント教材を用いながら進めていく。 適宜、新聞記事の紹介または視聴覚教材を通して、授業内容を理解する手助けとしていく。 また、教育に関するテーマで、討議も行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 教育とは？(2) 2. 教育観の史的展開 (1) 原始時代の教育(2) 子殺し、入社式、文字・文学の教育 (2) 古代ギリシャ時代の教育(6) ソフィスト、ソクラテス、プラトン アリストテレス (3) 中世の教育(2) キリスト教における学校制度成立 大学の成立 *討議(2) [前期中間試験](2)			教育の基本的概念を理解し、説明ができる。 原始時代の教育観について説明できる。 古代ギリシャ時代の教育思想家について、それぞれの教育観の特徴を理解し、説明ができる。 中世の教育観について説明できる。 (A-1)			
	*試験返却・解説(1) (4) 近世の教育(1) エラスムス、ルター (5) 近代の教育(4) 実学主義、コメニウス、ロック、カント ペスタロッチ、ヘルバルト (6) 現代の教育(4) 児童中心主義、ケイ、デューイ、ニール 脱学校論、I. イリッチ 3. 家庭教育のあり方(2) *討議(2)			近世の教育観が説明できる。 近代の教育観について、実学主義の教育観及びドイツにおける教育観を理解し、説明ができる。 児童中心主義及び脱学校論について、それらの基本的な考え方を理解し、説明ができる。 家庭教育の現状並びに課題について説明できる。 (A-1)			
	前期末試験 試験返却(1)						
評価方法	・前期の評価の内訳は、レポートの提出状況 10%、定期試験 90%とする。 ・学年総合評価は、後期の成績と合わせて行う。						
履修要件	後期で人文科学 I（担当：與田）を履修すること。						
関連科目	歴史 I（1年） → 歴史 II・公民 I（2年） → 公民 II（3年） → 人文科学 I（4年）						
教材	プリント教材を使用						
備考	単位追認試験は実施する。再試験の実施については、受講者全体の平均点を考慮して判断する。 担当教員への連絡先 TEL：087-869-3842 E-mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp						

【後期】

学習目標	第一次世界大戦，世界恐慌，第二次世界大戦・太平洋戦争など，激動の20世紀前半の歴史を，日本の動向を軸に論じてゆく。緊張する今日の東アジア情勢を理解するためには不可欠な，この時代についての深い知識と相対的な視野を身につけてもらいたい。	
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。	
学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	1. 日露戦争から満州事変へ (1) 日露戦争－第0次世界大戦？(4) (2) 朝鮮併合 (2) (3) 第一次世界大戦と日本 (2) (4) 昭和恐慌 (2) (5) 満州事変 (2) (6) 日中戦争(2) ----- [後期中間試験](1)	日露戦争を「帝国主義の時代」という世界史的な枠組みの中で把握できている。満州事変・満州国建国・日中戦争の原因・経過と，一連の出来事が今日の東アジア情勢に及ぼしている影響について説明できる。 学習・教育目標：(A-1)
	2. 太平洋戦争へ (1) 日米交渉 (2) (2) 戦争の経過(Ⅰ) 真珠湾攻撃～ミッドウェー海戦 (4) (3) 経過(Ⅱ) マリアナ沖海戦～サイパン戦 (2) (4) 経過(Ⅲ) 硫黄島～沖縄戦 (2) (5) 経過(Ⅳ) 本土空襲～原爆～敗戦 (2) (6) 東京裁判 (2)	太平洋戦争の概要と重要事項を理解できている。一連の出来事が今日の世界情勢に及ぼしている影響について説明できる。 学習・教育目標：(A-1)
	後期末試験	
	試験返却(1)	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期の評価の内訳は、定期試験結果を100%程度とする。 ・ 学年総合評価は、前期の成績と合わせて行う。 	
履修要件	前期で人文科学Ⅰ（担当：田口）を履修すること。	
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ・公民Ⅰ（2年） → 公民Ⅱ（3年） → 人文科学Ⅰ（4年）	
教材	プリント教材を使用	
備考	単位追認試験は実施する。再試験の実施については、受講者全体の平均点を考慮して判断する。	